



令和3年度

神谷だより

< 7月号 >

令和3年7月1日
北区立神谷小学校
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

気持ちのよいあいさつ

副校長 岡庭 智慧

本校では、「3つのあ（あいさつ・あつまり・あとしまつ）」を生活指導の重点として、基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上に取り組んでいます。

3つのあ
あいさつ・あつまり・あとしまつ

この中の「あいさつ」について、6月14日からの2週間を「あいさつ週間」として、全校であいさつ運動に取り組みました。この取り組みの目的は「友達と進んであいさつをすることにより、他人とのかわりや触れ合いを深めること」と「人間関係や豊かな心を育てること」です。

あいさつ週間中は、朝早くからあいさつ当番の子供が校門に集まり、元気な「おはようございます」の声を響かせていました。登校してくる子供たちも、笑顔で「おはようございます」と返しており、見ていてとても気持ちのいいものでした。普段、あいさつすることが少し苦手な子にとっては、自分からあいさつをするよい機会になったと思います。

校舎内を歩いていると、どの学年の子供たちも、「おはようございます」、「こんにちは」とあいさつをしてくれます。これは、あいさつ週間中に限ったことではなく日常的に見る光景です。日々の学校生活を通して、人と会ったらあいさつすることが当たり前で、まさしく「あいさつ習慣」になっているのだと感じます。

1年生の教室に入ると、子供たちはいつでも元気よく、「おはようございます」とあいさつをしてくれます。これはとても立派で、素晴らしいことなのですが、ある時、私からこんな話をしてみました。



「いつでも、元気にあいさつをしてくれるのは嬉しいのだけれど、授業中も大きな声であいさつをすると授業が止まってしまいますね。1年生はあいさつがとても上手だから、特別なあいさつを教えてあげます。それは、声は出さずに、相手と目を合わせて、頭だけを下げるというあいさつです。難しい言葉で会釈と言います。」と伝え、一緒にやってみました。

その後、授業中に1年生の教室を見に行くと、多くの子が私と目を合わせ、少し微笑みながら会釈してくれるようになりました。子供たちの行儀のよい会釈を見ると、つい頬が緩みます。もちろん休み時間には、元気よくあいさつしてくれます。1年生にとって、時や場に応じたあいさつは難しいかなと考えていましたが、きちんと説明すれば意味を理解し、実践できることに感心させられた出来事でした。

あいさつは、周りの人とつながりながらよりよく生きていく上で、とても大切なことです。全ての教育活動を通じて、また、私たち大人が手本となることで子供たちにその大切さを伝えられるよう、引き続き取り組んで参ります。

★お知らせ★

本校では、これまで新型コロナウイルスの陽性者は出ておりませんが、感染力の強い変異株も流行ってきており、今後、陽性者が出る可能性も否定できません。

学校としましては陽性者が判明した時点で、今後早めに下校することや臨時休校の可能性のあることについて、配信メールでお知らせいたします。

3年 自転車安全教室

赤羽警察署の方を講師にお招きして自転車の正しい乗り方を学ぶ自転車安全教室を行いました。安全に楽しく乗るためのポイントを丁寧にご指導していただき、子供たちにとって貴重な学びの機会となりました。

子供たちからは「今まで以上に安全に気を付けて乗る！」や「道路の使い方のルールについて初めて知ることが多かった！」などといった声がたくさん聞こえてきました。今回の学習を機に、子供たちの安全意識が今まで以上に高まり、今後の生活に生かしていければいいと思います。



3年担任

読書週間

6月14日～25日は、春の読書週間でした。普段は火曜日、木曜日の休みに図書室で本の貸し出しを行っています。期間中は、借りられる冊数を普段より1冊多い3冊までとし、毎日貸し出しを行いました。また、今回は読書週間メニューとして、『そらまめくんのベッド』に出てくる「ゆで空豆」と『サラダでげんき』に出てくる「りっちゃんサラダ」を給食に出しました。『サラダでげんき』は、3～6年生は1年生の時に国語の教科書で読んだ物語です。話を思い出して、「動物が好きな物が入っているサラダだよ。」と献立を見ながら友達と話す子供たちもいました。どちらの献立の日も、5・6年生の図書委員が給食中に放送で本の読み聞かせをしました。

神谷小では火・水・金曜日に朝読書を行っています。1～3年生には、ブックボランティアの方々が読み聞かせもしてくださっています。10月には秋の読書週間があります。これからも、様々なことをきっかけに本を好きになってほしいと思います。



図書担当教員